

府中町ふるさと歴史散策

〔第52回〕

文化財としての地名⑬

昭和初期の町内会名⑬

八幡

昭和初期の頃の字名は古い歴史に基づいた所が多く、現在も生き続けている。今回は「八幡」について考えていくこととする。

(13) 字 八幡

「この地は松崎八幡別宮があったことから、八幡をとってその地名となったのであろう。ただし、八幡を「やはた」と読むようになった理由は定かではない。」(菅原守編『芸州府中荘誌』から、筆者が口語訳したもの)。「八幡」古くから「松崎八幡宮」(建仁4年(1213年)や「八幡別宮」(永仁5年(1213年)など)と賞せられた南東部居住地一帯を指しており、鎌倉期からの資料に見られるものである。八幡宮の存在は平安中期以前までさかのぼることができると思われる。(以下略)」「(安芸府中町史(第一巻)から)

いる。

前述の「松崎八幡宮」についてもう少し詳しく説明する。「松崎八幡宮は京都岩清水八幡宮の別宮として平安末期から鎌倉初期に創建されたものではないかと思われる。源頼朝の下文にその名がみられる。田所文書や毛利氏の検地帳にもその免田や社領が記されている。松崎八幡宮は玉勝院・神前坊・神力院・法寿坊・行専坊の五つの末寺を抱える神仏混淆の神社であった。江戸時代には府中村南部の氏神であったが、境内に祭られている「たけい社」をめぐって北部氏神の総社との争いが絶えなかったが、明治7年(1874年)に多家

神社へ共に合祀された。」(『安芸府中の歴史と文化財』から)

現在は「松崎八幡宮跡」(写真①)として宮の町五丁目とその跡地が残っている。なお、ここをいう、「たけい社」とは神武天皇の東征伝説にある「安芸多祁理宮」のことである。また、八幡二丁目には真言宗金剛寺(写真②)がある。

府中町文化財保護審議会委員

熊野 俊浩

問い合わせ

教育委員会生涯学習課

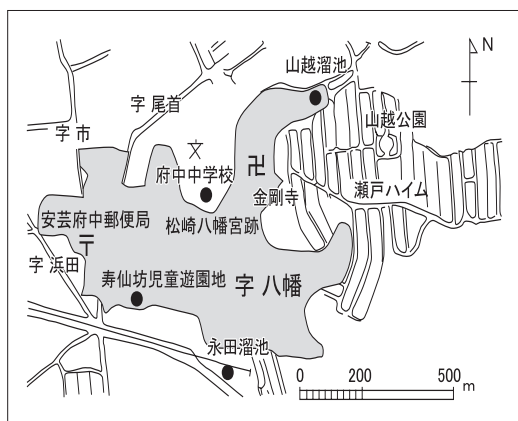
☎286-3272



写真① 松崎八幡宮跡



写真② 金剛寺



地図「字 八幡」(□の部分)とその周辺図

人の動き

2月1日現在(前月比)

人口	51,939(-19)
男	25,557(-10)
女	26,382(-9)
世帯	21,461(-19)
面積	10.45km ²

町の花
つばき

町の木
くすのき

お悔やみ

(敬称略)

氏名(年齢)	住所	死亡日
松尾 邦彦(83)	城ヶ丘	12/29
福原美奈子(80)	八幡二丁目	1/11
久保 爲武(64)	青崎東	1/11
小林 正夫(85)	山田二丁目	1/18
片岡 善紀(79)	本町四丁目	1/19
河下ハナコ(86)	宮の町四丁目	1/20
下石 モリ(66)	青崎東	1/24
荒津田ハスエ(89)	緑ヶ丘	1/25
村上 峯子(80)	清水ヶ丘	1/27
神田アヤ子(103)	石井城二丁目	1/30

※この「お悔やみ」欄には、「町広報紙掲載申出書」の提出があった場合のみ掲載しています。

《お知らせ》

平成20年5月号をもって「お悔やみ」の掲載を終了します。平成20年3月末日まで「町広報誌掲載申出書」を受け付けます。

問い合わせ

地域振興課広報公聴担当

☎286-3127

「広報ふちゅう」等のカセットテープ版・点字版のご案内

「広報ふちゅう」「議会だより」「ふれあい府中(社協だより)」のカセットテープ版・点字版を、希望者に無料で貸し出し・提供しています。

あなたのまわりの視覚に障害のある方に是非お知らせください。

申し込み・問い合わせ 府中町社会福祉協議会 ☎285-7278 FAX287-3467

